



「保険で良い歯科」実現求め 歯科決起集会・街頭宣伝

署名街頭宣伝のもよう。多くの通行人が足を止めた

保団連など医療関係4団体は10月27日、「命を守る」「保険で良い歯科医療の実現を求める10・27決起集会」を東京都内で開催。集まった歯科医療関係者340人が、診療報酬改善と、保険で良い歯科医療の実現を求めた。

JR有楽町駅前と御茶ノ水駅前で「保険で良い歯科医療」の実現を求める「請願署名」の街頭宣伝を行い、歯科医師ら150人が参加した。

白衣の歯科医師の訴えに、1時間足らずの間に500筆を超える署名が集まった。

集会に先立って、東京・

歯科医療の危機的状況の打開を！

10・27 決起集会開催

保険で良い歯科医療の実現求める

「命を守る」保険で良い歯科医療の実現を求める10・27決起集会」が10月27日、東京都内で開かれ、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などの歯科医療関係者340人が参加した。主催は保団連など4団体でつくる実行委員会。

診療所の実情発信を

保団連の宇佐美宏歯科代表が開会あいさつ。総医療費に占める歯科のシェアは7%と2年連続で最低を記録している指摘。低診療報酬と患者減にあえぐ診療所の実情を国民に発信することが必要と強調し、「歯科診療報酬の引き上げと患者窓口負担を限りなくゼロに近づける両面の運動を患者と一緒に進めよう」と呼び掛けた。

集会では、歯科医療の危機打開のためには、保険で良い歯科医療の実現が不可欠であり、そのため、窓口負担の軽減、保険のきく範囲の拡大、歯科技工士、歯科衛生士を守り育てる、診療報酬引き上げ、消費税増税やT・PP参加の断固阻止などの行動の推進をアピールした。



340人が集まった集会のもよう(上)とあいさつする宇佐美宏歯科代表(右)



秋晴れの下、街頭宣伝 署名500筆超集まる



集会に先立って、実行委員会は東京都内2カ所で「保険で良い歯科医療の実現を求める請願署名」の街頭宣伝を行い、歯科医師ら150人が参加した。台風一過の晴天の下、白衣に身を包んだ参加者が「保険で良い歯科」の実現を呼び掛けるなど、多くの通行人が足を止め、1時間足らずの間



街頭宣伝にも登場したきぐるみも登場した街頭宣伝のもよう

に500筆を超える署名が集まった。参加した歯科医師らは「私たち一人ひとりの声は小さいが、署名を集めて大きな力に変えて、医療を守る」と呼び掛けた。

歯科医療の厳しい現状

歯科技工士の労働実態の報告も

リレートークでは、保団連の竹田正史副会長が「2013年度歯科会員アンケート」の結果を紹介。昨年と比べた保険収入では、「増えた」15%に対して、「減った」52%、「変わらない」29%と、過半数の歯科医院が収入減少に苦しんでいると指摘した。大分県保険医協会の賀



街頭宣伝に参加した歯科医師らは、保団連の池潤理事(愛知)、賀来進理事(大分)を先頭に、署名協力と呼び掛けた

し、自治体での意見書採択も11道県議会、586市町村議会に上るなどの運動の広がりを紹介した。運動の成果を報告した。

300万円以下が3割近くになるなど、深刻な実態が紹介された。岩手県保険医協会の小山田榮二副会長(保団連理事)は、被災地での医療実態について報告。患者の34%が医療費窓口負担免除が終了したら通院回数を減らすと答えたこと紹介。「医療費免除の間に直そうと、本当にがたがたになった入れ歯を持つ必要だ」と話した。